

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 31 年1月解析分)

1 今月のトピックス

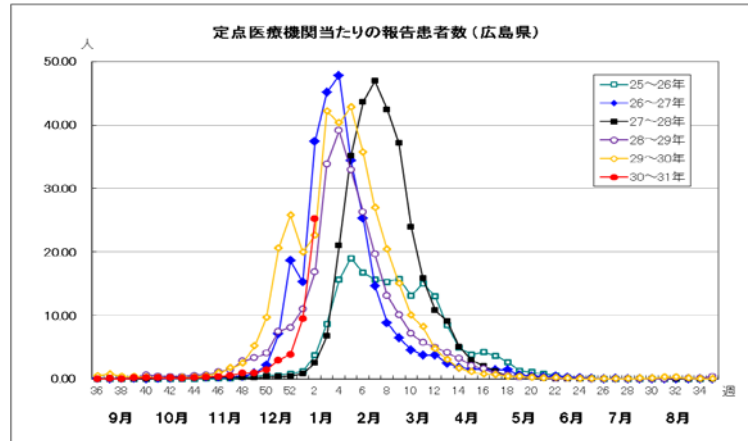
(1) インフルエンザの流行状況について

警報発令中!!

平成 31 年第 2 週 (1 月 7 日～1 月 13 日) の定点医療機関からの報告患者数が、西部東保健所および北部保健所管内で警報開始基準値 (定点当たり 30) を上回り、インフルエンザの流行が本格的になったと考えられたため、平成 31 年 1 月 17 日、県内に「インフルエンザ警報」を発令しました。

昨シーズンより、3 週間遅い発令となります。

例年、1～2 月頃、定点医療機関からの報告患者数がピークを迎える傾向にありますので、次の注意点を参考にいただき、感染予防、流行拡大防止の徹底をお願いします。



インフルエンザを予防するための注意点

- こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
 - ・咳・くしゃみの症状がある場合は、人にうつさないためマスクを着用する。
 - ・咳・くしゃみの際は、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむけて 1 m 以上離れる。
 - ・鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度 (50%～60%) を保ちましょう。
- 人が集まる場所への不必要な外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
特に基礎疾患 (腎臓疾患, 心臓疾患, 呼吸器疾患等) をお持ちの方や、妊婦, 高齢者, 乳幼児は、合併症や、重症化の恐れがありますので注意しましょう。



マメソウくん

咳エチケット

マスク、ティッシュ・ハンカチ、ぞでなどで鼻と口をおおきましょう。



コマちゃん

手洗い

指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いをしましょう。



最新の発生状況等については、広島県のホームページを御覧ください。



広島県 インフルエンザ 流行

検索

(2) 感染性胃腸炎の流行状況について

警報発令中!!

定点医療機関から報告患者数が 11 月の 1,889 人から 12 月は 2,765 人と急増しました。

感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、「人から人へ感染する場合」と「二次汚染した食品から感染する場合」があります。

特に、ノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染予防及び流行拡大防止の徹底をお願いします。

最新の発生状況等については、次のホームページを御覧ください。



広島県 感染性胃腸炎 流行

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成30年12月分(平成30年12月3日～平成30年12月30日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,037	2.27	5.84	↑	10	ヘルパンギーナ	30	0.10	0.05	↘
2	RSウイルス感染症	209	0.73	1.30	↗	11	流行性耳下腺炎	33	0.11	0.46	↘
3	咽頭結膜熱	130	0.45	0.72	→	12	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.03	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	654	2.27	2.26	→	13	流行性角結膜炎	50	0.66	0.86	↗
5	感染性胃腸炎	2,765	9.60	10.75	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	121	0.42	0.91	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
7	手足口病	46	0.16	0.47	↓	16	マイコプラズマ肺炎	4	0.05	0.31	↓
8	伝染性紅斑	67	0.23	0.24	↗	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	90	0.31	0.40	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.05	—	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成30年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	51	2.22	2.06	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	78	3.71	3.79	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	28	1.22	0.69	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.51	↓
21	尖圭コンジローマ	10	0.43	0.49	↓	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.00	
22	淋菌感染症	19	0.83	0.82	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)		
○急増疾患	インフルエンザ	(0.52 → 2.27)
○急減疾患	手足口病	(0.53 → 0.16)
	マイコプラズマ肺炎	(0.13 → 0.05)
	尖圭コンジローマ	(1.00 → 0.43)
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(0.52 → 0.10)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	35	結核(35)〔西部保健所(4),西部東保健所(1),東部保健所(6),北部保健所(1),広島市保健所(13),呉市保健所(2),福山市保健所(8)〕
三類	0	発生なし
四類	14	E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, つつが虫病(5)〔西部保健所(1),広島市保健所(2),福山市保健所(2)〕, レジオネラ症(7)〔西部東保健所(2),広島市保健所(4),福山市保健所(1)〕,日本紅斑熱(1)〔東部保健所(1)〕
五類	50	ウイルス性肝炎((E型,A型を除く)(1)〔広島市保健所(1)〕), カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(8)〔西部保健所(1),北部保健所(2),呉市保健所(5)〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕, 急性弛緩性麻痺(1)〔広島市保健所(1)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(3)〔広島市保健所(1),福山市保健所(2)〕, 侵襲性インフルエンザ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(7)〔西部保健所(1),東部保健所(2),広島市保健所(3),福山市保健所(1)〕, 梅毒(9)〔西部東保健所(1),広島市保健所(3),福山市保健所(5)〕, 百日咳(13)〔西部東保健所(6),東部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1),福山市保健所(4)〕, 風しん(4)〔西部保健所(2),広島市保健所(2)〕